

市民ネットワーク 札幌市議会報告

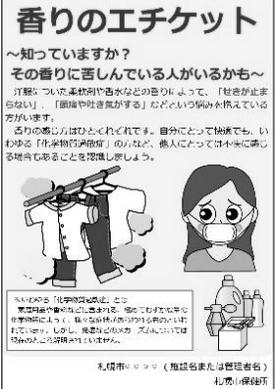


札幌市議会議員
石川さわ子

「香り」による「香害」、健康被害への理解と対策を

衣類の柔軟仕上げ剤や消臭剤等の「香り」により、頭痛や吐き気などの健康被害を受ける人が増え、教室に充満する「香り」による息苦しさから、学校を休まざるを得ない子どもの切実な声が届いています。

市民ネットワークは、当事者とともに、公共施設において香料で苦しむ人への配慮などを札幌市に求め、現在、ポスターで啓発する取り組みが区民センターや小学校等で広がっています。香料等により化学物質過敏症を引き起こすと、日常生活が大きく制限され、進学や就職にも影響が出ることがあります。子どもの健康被害の防止には、公共施設等では「香り」の強い製品を使用しないことや室内換気を徹底することが重要です。



▲札幌市が作成したポスター

「手話」が使いやすい社会を

市民ネットワークは、手話は、ろう者にとって言語であり、社会を生きるための「命」であるとの認識に立ち、手話言語条例の早期制定を求めてきました。札幌市は、条例作りに向け、「手話・障がい者コミュニケーション検討委員会」を設置し取り組んできました。当事者団体や市民団体による議会等への働きかけなどがあり、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」が第3回定例市議会で可決(2017年12月1日施行)され、さらに「札幌市手話言語条例」が17年度内に施行予定です。障がいのある方の社会的障壁が取り除かれるよう今後も活動をすすめます。

以下についても議会質問等を行いました。

- ・都心アクセス道路問題
- ・指定緊急避難場所の周知
- ・ICT活用問題
- ・環境教育の充実
- ・児童会館の運動スペースの確保
- ・障がい者雇用の推進
- ・人種差別撤廃条例の制定
- ・原発事故被災者支援等



▲マイナンバー制度の危険性と抜本的見直しを訴えました。

子どもの最善の利益を保障する「札幌市子どもの貧困対策計画」を

札幌市は、子ども・若者やその世帯への生活実態調査を行いました。「相談窓口への行きづらさから相談に行くことができない」「大学への進学希望が低い」「教育を受けさせるためのお金の準備の目処がたっていない」など困難を抱える子どもの生活や教育、就職等の実情が明らかになっています。札幌市は、子どもの貧困対策計画(案)を17年12月、子ども子育て会議児童福祉部会に示し、スクールソーシャルワーカーの拡充、高等学校等生徒通学交通費助成などを提案していますが、さらに給付型奨学金の拡充など当事者の実情にあった政策や事業が不可欠です。

市民ネットは市民の声を政策にします



市民ネット3つのルール

- 議員は、交代制(ローテーション) 2期8年を基本とし、最長3期12年とする。議員を職業化、特権化せず、市民の議会参加を広げます。
- 議員の報酬は、みんなで管理 議員を議会活動の担当者として位置付けています。議員の報酬は市民の活動費としています。
- カンパとボランティアによる選挙 お金のかかる選挙は利権を生むものになります。みんなでお金(カンパ)と知恵と労力(ボランティア)を出し合って選挙を行い、政治に参加する人を広げます。

一市民の視点で議会改革を— 地方議会議員の「厚生年金」加入に異議あり

地方議員年金制度は、財政破たんのため2011年に廃止されました。しかし、全国の地方議員の多くは、国会議員とともに「厚生年金」加入をめざし、法整備を進めようとしています。

市民ネットワークは、地方議員が「厚生年金」に加入すると、市政をチェックすべき立場の議員が自治体(首長)と雇用関係を結ぶことになり、市民自治の崩壊につながることから、この制度に反対しています。また、保険料の1/2は公費負担となり、毎年約170億円もの税金が投入されます。議員自らの経済的な身分保障を求めるのではなく、全ての市民が安心して暮らせる社会保障制度の確立を優先すべきです。



市民ネットワーク北海道とは

札幌市、石狩市、北広島市、江別市に6名の議員を擁する市民の政治団体です。政治は、生活を豊かにする「道具」です。市民ネットワークの議員は、市民の声を政治の場に届ける「代理人」として、政治と生活をつなぎます。現在、8都県ネットと連携し、ともに地域から政治を変える活動をすすめています。



全国に広がる市民政治ネットワーク

市民ネットワーク北海道 (6名)	埼玉県市民ネットワーク (5名)	全国計 (105名)
札幌市1名、石狩市2名	つくば・市民ネットワーク (4名)	()内は議員数
北広島市2名、江別市1名	とりで生活者ネットワーク (1名)	2018.1現在
東京・生活者ネットワーク (50名)	信州生活者ネットワーク (1名)	
神奈川ネットワーク運動 (15名)	ふくおか市民政治ネットワーク (7名)	
市民ネットワーク千葉県 (16名)		